

土木学会 DEI行動宣言

2025年6月4日記者発表

公益社団法人 土木学会

2024年度会長特別プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」
D&I行動宣言フォローアップWG

DEI委員会

目次

DEIの定義

策定の背景と目的

DEIに至る道のりと取組み

土木学会DEI行動宣言の概要

今後に向けて

WGメンバー・DEI委員会名簿

DEIの定義

- **ダイバーシティ (Diversity)** : 性別、国籍、障害の有無などの表層の多様性にとどまらず、専門性、経験、価値観などの深層の多様性も指す
- **エクイティ (Equity)** : 一人ひとりの状況に応じて機会や情報、リソースへのアクセスを公平に提供すること
- **インクルージョン (Inclusion)** : 人々が対等に関わり合いながら組織に参加できる環境づくりやマネジメントを行い、多様性を強みとすること

「ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン (DEI)」とは、多様性を尊重し、公平性の意識を持ち、全ての人々を包摂する環境づくりを推進するという概念

策定の背景と目的

- 土木学会は2015年に「土木学会ダイバーシティ & インクルージョン（D&I）行動宣言」を策定し、これに沿ってDEI委員会を中心にD&Iの推進に取り組んできた
- 以来10年間で、社会におけるD&Iに関する理解が広がり、深化する一方、土木学会での進展が十分ではないことなどを踏まえ、行動計画を改訂した
- 改訂は2024年度会長特別プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」D&I行動宣言フォローアップWGが担当
今後の実践はDEI委員会が担う

土木学会のDEIの道のり

2004 ジェンダー問題検討特別小委員会

2006 男女共同参画小委員会

2010 ダイバーシティ推進小委員会

2014 ダイバーシティ推進委員会

2015 土木学会D&I行動宣言

2020 ダイバーシティ・アンド・インクルージョン（D&I）推進委員会

2020 JSCE2020プロジェクト「土木D&I2.0」

2024 2024年度会長特別プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」D&I行動宣言フォローアップWG

2025 土木学会DEI行動宣言

2025 DEI委員会

DEIの取組み

継続

- D&Iカフェトーク
- リーフレット
- D&I勉強会
- 読書リスト
- インタビュー
- 坑内労働検討
- 外国出身技術者の場
- ポスターコレクション
- 全国大会セッション
- D&I研究討論会

追加・拡充

意思決定層の多様性向上

新

行動宣言の改訂

新

学習機会の拡大

周知・連携強化

DEIの取組み

D&Iカフェトーク

リーフレット

D&I勉強会

読書リスト

インタビュー

坑内労働検討

外国出身技術者の場

ポスターコレクション

全国大会セッション

D&I研究討論会

D&Iカフェトーク 第63回

本日の話題

**軌道と私
～キャリアアップを目指した分岐点～**

JR東日本の建設工事部門で様々なプロジェクトを担当してきた今尾さん・土木の中でも鉄道建設という業界において、さらに特殊な「軌道」を長年担当されてきた経験と、キャリアアップを目指した際の葛藤や想いを伺います。

2024年8月23日(金)
17:00-17:30ごろ

参加無料 申し込みはこちらから

ゲスト 今尾 友絵 さん
*日本技術者協会(特)

アンカー 今野 博史 さん
*日本建築家協会(特)

素晴らしい書事とお話を聞くのが最高の時間！

ドボクD&I2.0チーム 冲藤・吉古層が大活躍！度師は絶対に無難さ

第112代土木学会会長特別プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」連動プログラム

土木学会ダイバーシティ・アンド・インクルージョン(D&I)推進委員会 主催 D&I勉強会

DE&Iを進める取組 ～事例に学ぶ～

2024年度D&I推進委員会では、ダイバーシティについての理解をより深めるため、勉強会を開催いたします。

第2回目は矢島洋子氏を講師に迎え、「DE&Iを進める取組」についてご講義いただきます。

働き方改革や女性活躍など、企業での取り組み方について、事例を交えてご紹介します。

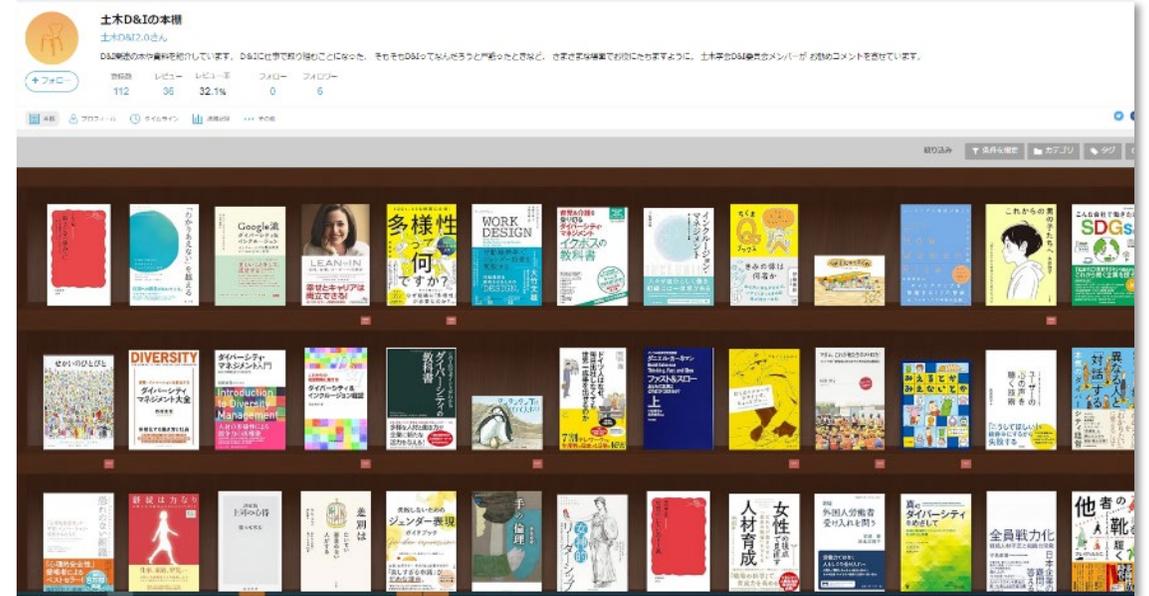
みなさま、ふるってご参加ください。

2024年9月17日(火) 10:00～11:00
オンライン (ZOOMウェビナー)
無料
「土木学会本部主催行事の参加申込」
<https://www.jstage.or.jp/events>
もしくは右のQRコードから申し込みください。

【講師ご紹介】
やじま ようこ
矢島 洋子 氏
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政経研究事業本部 東京本部
執行役員 副本部長

主催 公益社団法人土木学会
ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会
<https://committees.jstage.or.jp/diversity/>

本行事は、土木学会認定CPDプログラム(申請中)です。



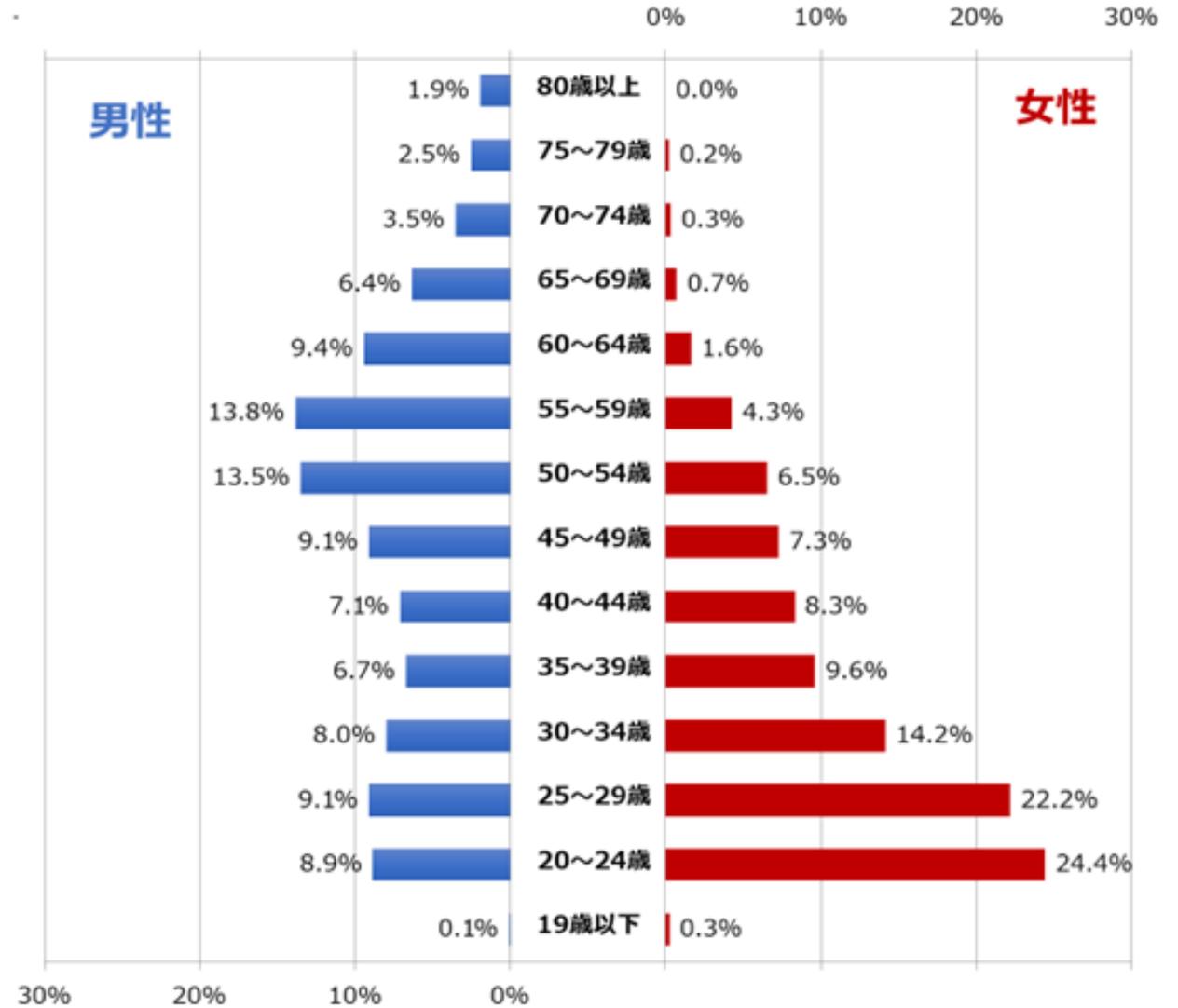
土木学会会員構成の 変化 (2015年と2025年)

出典：土木学会会員・企画課調査より
土木学会D&I行動宣言フォローアップWG
(会長特別プロジェクト) 作成

会員種別		人数			割合	
		合計	男性	女性	男性	女性
正会員	2015年	32,359	31,351	1,008	96.9%	3.1%
	2025年	33,939	31,891	2,048	94.0%	6.0%
学生会員	2015年	4,925	4,341	584	88.1%	11.9%
	2025年	4,233	3,524	709	83.3%	16.7%
合計	2015年	37,284	35,692	1,592	95.7%	4.3%
	2025年	38,172	35,415	2,757	92.8%	7.2%

土木学会個人会員の性別・年齢別の構成 (2025年3月31日現在)

出典：土木学会会員・企画課調査より
土木学会D&I行動宣言フォローアップWG
(会長特別プロジェクト)作成



改訂の要点

1. エクイティの概念の追加
2. 障害の有無を含む多様性への言及
3. 女性・外国人・障害者の参画促進
4. 社会基盤整備における多様なエンドユーザーへの対応の明示

2015

土木学会 D&I
行動宣言

認 活 育
め か て
る す る

— 2025

土木学会
DEI行動宣言

認 活 育
め か て
る す る

DEI推進の3つの柱

1. 認め合う

多様性を尊重し、違いを認め合う。

2. 発揮する

多様な人材が参画し、自らの能力を発揮する。

3. 育つ

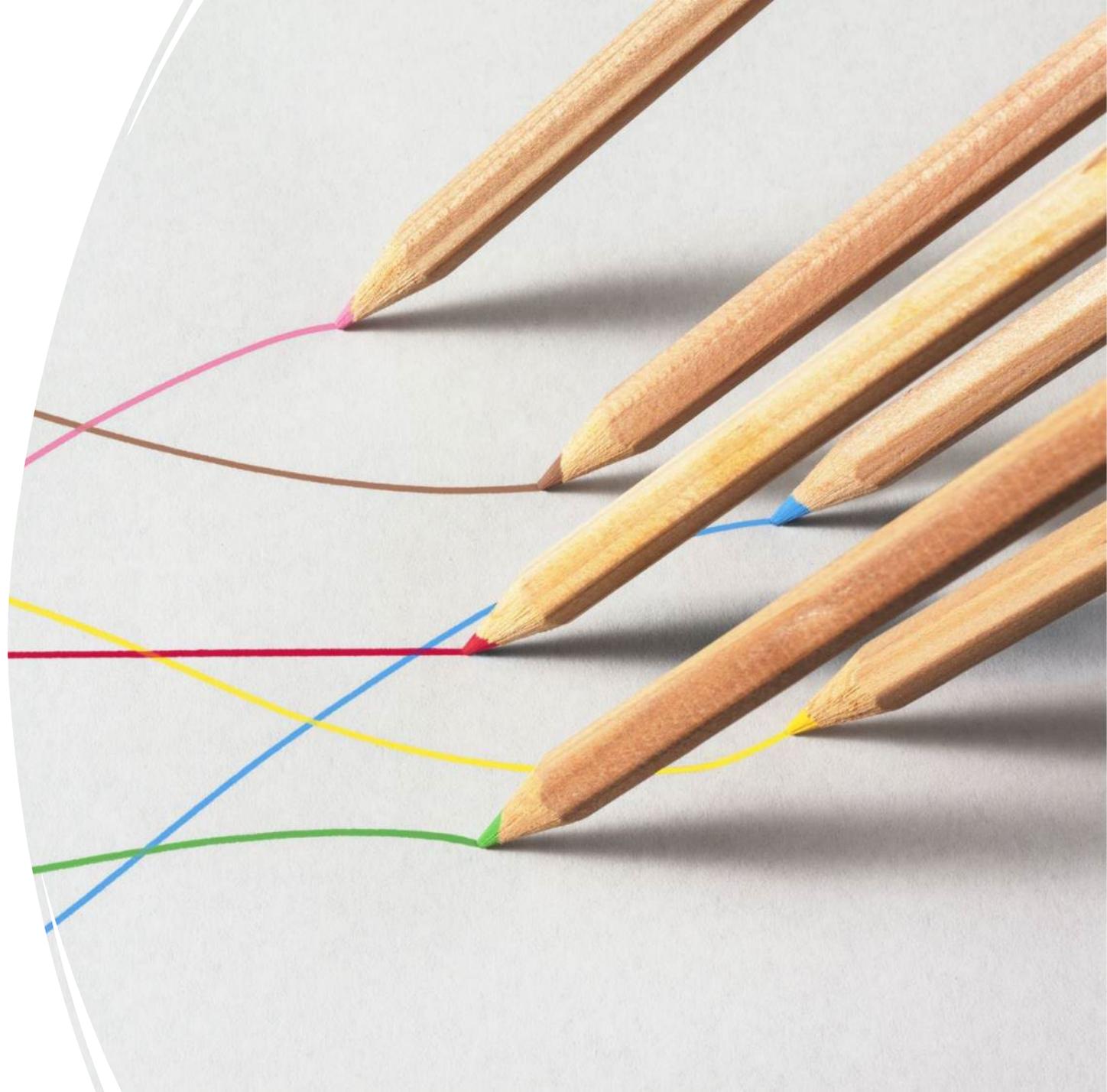
多様な人材や組織が自ら育ち、
魅力ある土木界をつくる。

主体別の取組み

- **土木学会:** 本行動宣言を率先して実行し、土木学会及び土木界全体を牽引する
- **会員:** 様々な場面においてDEIの推進に努める
- **DEI委員会:** 土木学会におけるDEI推進の核としての役割を担う
- **土木界:** 自組織におけるDEI推進に努め、社会基盤整備において本行動宣言を取り入れることを期待する

今後に向けて

- 土木学会の会員をはじめ、土木に関わるすべての皆さまに実践いただきたい
- 令和7年度土木学会全国大会では、会長特別プロジェクト及びDEI委員会のそれぞれで研究討論会を開催し、私たちが取り組むべきことについて議論予定



2024年度会長特別プロジェクト「土木学会の風景を描くプロジェクト」
D&I行動宣言フォローアップWGメンバー

メンバー

青木 真利子	株式会社ドーコン
○飯島 玲子	パシフィックコンサルタンツ株式会社
柏倉 志乃	大成建設株式会社
Jonathan Gonzalez (ゴンザレス ジョナタン)	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
時弘 みどり	清水建設株式会社
羽野 暁	九州大学
平永 佐知子	ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社

オブザーバー

山田 菊子	株式会社ソーシャル・デザイナーズ・ベース
米山 賢	株式会社建設技術研究所
竹之内 綾子	鹿島建設株式会社

○：リーダー

土木学会 DEI委員会 2025年度 委員名簿

委員長	米山 賢	株式会社建設技術研究所
幹事長	竹之内 綾子	鹿島建設株式会社
副幹事長	青木 真利子	株式会社ドーコン
委員	阿部 友美	株式会社奥村組
委員	大村 珠太郎	清水建設株式会社
委員	尾川 七瀬	株式会社技研製作所
委員	柏倉 志乃	大成建設株式会社
委員	鯨岡 史歩	東京都
委員	黒川 信子	日本工営株式会社
委員	黒木 麻子	株式会社エイト日本技術開発
委員	ゴンザレス ジョナタン	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
委員	今野 博史	東日本旅客鉄道株式会社
委員	杉山 恵	株式会社三菱総合研究所
委員	瀬尾 弘美	株式会社建設技術研究所
委員	時弘 みどり	清水建設株式会社
委員	羽野 暁	九州大学
委員	三池 瑠衣	東海旅客鉄道株式会社
委員	本橋 あずさ	パシフィックコンサルタンツ株式会社
委員	安江 哲	オフィス安江
委員	矢本 貴俊	東京大学大学院
委員	米田 咲	佐藤工業株式会社
委員	鷺頭 直子	株式会社フジタ
委員	和田 奈那美	株式会社大林組
顧問	飯島 玲子	パシフィックコンサルタンツ株式会社
顧問	中藤 誠二	関東学院大学
顧問	山田 菊子	株式会社ソーシャル・デザイナーズ・ベース

ご清聴ありがとうございました。

